



SSH コース生徒、科学系クラブ員が 地域の児童生徒に向けて科学教室実施 ～ 諏訪市児童センターセンターまつりへ参加 ～



化学部の亜鉛メッキ、真鍮作成実験
銅色が、銀色、金色にみるみる変化することに興味津々



「象さんの歯磨き」実験 三角フラスコからあふれ出る沢山の泡にびっくり



透明標本に見入る少年たちと丁寧に説明する生物部員



顕微鏡下にみえるプランクトンに熱中

諏訪清陵 SSH 事業の研究開発事業において、科学系クラブや SSH コース生徒の課題探究の振興を図っています。また、地域の児童生徒に向けては「科学教室」、「わくわくサイエンス教室」等を年間を通して実施して普段のクラブ活動や課題探究の成果を地域に発信しています。「科学教室」は、本校独自のみならず

地域での公共機関の催しに参加させていただいて実施しています。今年も、諏訪市児童センター、諏訪市博物館、工学院大学（諏訪市教育委員会）、岡谷市商工会等の行事に参加しました。

11月9日（日）には諏訪市児童センターの「センターまつり」に化学部と生物部の諸君が参加して、「科学教室」と「顕微鏡の世界」という企画を児童生徒向けに実施しました。

化学部は、「象さんの歯磨き」と呼ばれる洗剤を混ぜた漂白剤（過酸化水素水、 H_2O_2 ）に触媒としてヨウ化カリウム（KI）を加えると大量の泡が発生する実験、銅の亜鉛メッキ及び真鍮作成実験、液体窒素の凍結実験を行いました。生物部は、顕微鏡と実体顕微鏡を用いて、昆虫の複眼・翅の構造、地元諏訪湖のプランクトン（アオコ、珪藻、ゾウミジンコ等）の観察と、生物部が作成した「透明標本」を展示しました。いずれの実験・観察も児童生徒の興味関心を惹きました。中には標本を覗き込み離れない子供もいました。

「科学教室」を日常的に実施するためには、学校独自で実施する以外に、地域の公共機関との連携して実施することが有効と考えています。